

●調査レポート

第77回 埼玉県内企業経営動向調査－2011年10～12月期－

調査対象：県内企業 570 社 調査方法：アンケート方式（11月上旬 郵送回収）
 回答企業：275 社（回答率 48.2%） 業種別内訳：製造業 163 社 非製造業 112 社
 調査分析方法 BSI 方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

<概況>

県内企業の業況感は足踏みの状況となっている。今回の業況判断 BSI は-19 と、7～9 月期の持ち直し予測に反し、前回とほぼ横ばいとなっている。

今回集計結果を規模別にみると、「規模の小さい企業」（従業員 100 人未満）の業況判断 BSI は-27、「規模の大きい企業」（従業員 100 人以上）は-11 と、ともに前回とほぼ横ばいとなっている。

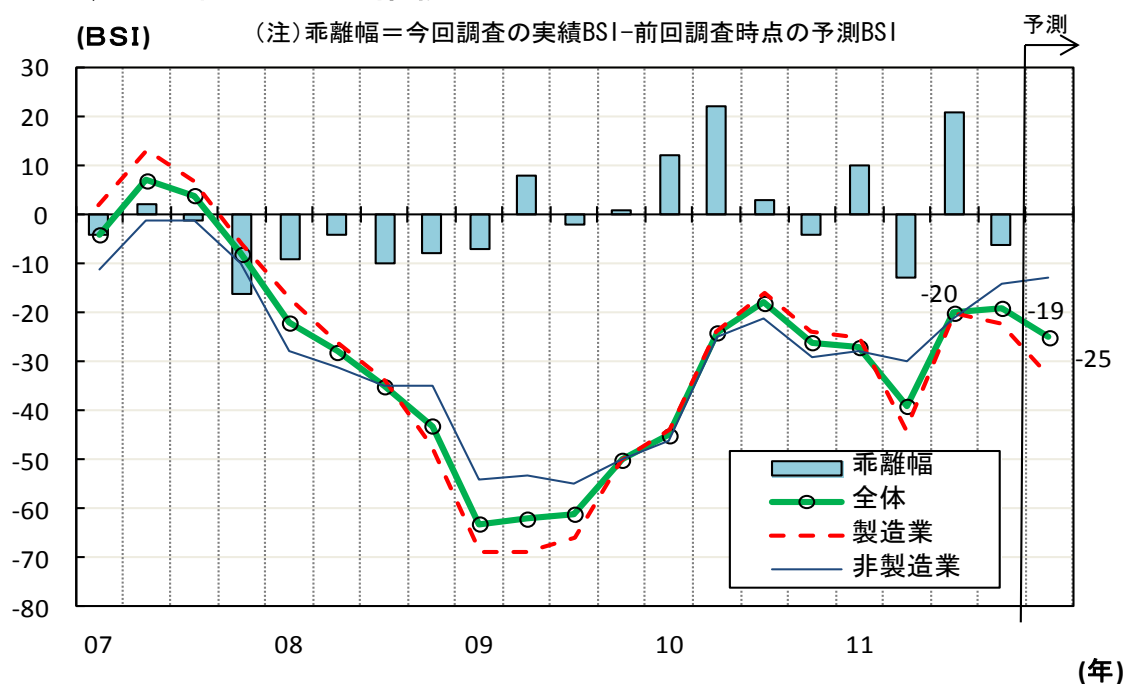
業種別にみると、製造業は、素材型業種や加工組立型業種のうち輸送用機械で東日本大震災後の在庫積み増しの動きが続き回復しているものの、一般機械、電気機械、電子部品・デバイスなどでは、円高や海外経済の減速などを背景に後退している。非製造業は、大震災後の供給制約解消などから、卸売や小売などで水面下ではあるが持ち直している。

先行き（2012 年 1～3 月期）の業況判断 BSI は-25 に後退する見通しとなっている。業種別にみると、製造業は、素材型や輸送用機械も含めた加工組立型で、円高や海外経済の減速に加え、タイの洪水の影響、欧州の政府債務危機が懸念されることから、慎重な見方が強まる見通しとなっている。非製造業では、卸売や小売が引続き持ち直していくものの、全体としてはほぼ横ばいの見通しとなっている。

図表1. 業況BSIの推移

(BSI)

(注) 乖離幅＝今回調査の実績BSI-前回調査時点の予測BSI



1. 業況判断 BSI(「良い」－「悪い」) ～足踏み～

今回調査の業況判断 BSI は、-20 → -19 (前回→今回、以下同じ。)とほぼ横ばい、業況感は足踏みの状況となっている。

規模別にみても、規模の大きい企業、規模の小さい企業ともにほぼ横ばいとなっている。業種別にみると、素材型業種や加工組立型業種のうち輸送用機械で回復しているものの、一般機械、電気機械、電子部品・デバイスなどでは後退している。非製造業は、卸売や小売などで水面下ではあるが持ち直している。

図表2. 規模別・業種別業況判断BSI

	2010年			2011年				前回予想	2012年 1～3月 (先行き)
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
全体	-24	-18	-26	-27	-39	-20	-19	-13	-25
100人未満	-28	-32	-37	-34	-36	-29	-27	-19	-38
100人以上	-19	-3	-13	-19	-42	-10	-11	-6	-11
製造業	-24	-16	-24	-25	-44	-20	-22	-14	-33
100人未満	-24	-30	-34	-29	-39	-27	-33	-17	-44
100人以上	-23	1	-12	-21	-50	-14	-12	-10	-22
素材型	-21	-28	-21	-23	-43	-24	-20	-9	-38
パルプ・紙・紙加工品	-9	-29	-38	-31	-50	-31	-23	-15	-69
化学・石油製品・プラスチック・ゴム製品	-27	-23	0	-31	-36	-6	-29	20	-7
鉄鋼・非鉄金属	-25	-15	-25	-50	-46	-31	-36	-23	-27
金属製品	14	-18	-7	15	-33	-15	8	8	-23
その他素材型	-53	-44	-29	-18	-47	-35	-21	-30	-62
加工組立型	-22	-2	-24	-23	-45	-11	-22	-10	-33
一般機械器具	-53	-21	-31	-17	-24	0	-33	-11	-33
電気・情報通信機械器具	-23	-8	-33	-41	-79	-20	-29	-14	-47
電子部品・デバイス	-11	10	8	-23	-54	-8	-36	-8	-27
輸送用機械	8	0	-36	-36	-62	-23	30	0	0
精密機械	-18	14	-25	8	-21	-7	-27	-15	-45
生活関連型	-39	-23	-32	-41	-50	-38	-22	-35	-26
飲・食料品	-23	8	-14	-23	-38	-21	-8	-36	-17
印刷・同関連業	-60	-67	-55	-57	-62	-58	-36	-33	-36
その他製造業	-14	0	-14	-14	-29	-14	-50	-29	-17
非製造業	-25	-21	-29	-28	-30	-21	-14	-12	-13
100人未満	-33	-34	-41	-41	-30	-32	-20	-22	-30
100人以上	-15	-8	-15	-15	-30	-5	-9	2	6
一般建設	-52	-52	-64	-50	-39	-44	-22	-48	-44
住宅建設	18	9	36	-14	-8	-8	-25	8	-33
卸売	-42	-25	-39	-16	-33	-24	-11	-5	5
小売	-19	0	-44	-28	-38	-26	-14	-8	-5
運輸・倉庫	-13	-25	0	-25	-17	0	-14	10	-7
不動産	-20	0	-33	-54	-23	-27	-18	-13	-9
その他非製造業	-17	-27	-17	-11	-39	5	0	0	0

2010年10～12月期から素材型の「繊維・衣服・その他の繊維」、「木材・木製品・家具」、「窯業・土石」を統合し、「その他素材型」とした。また、「建設」の業種名については、「住宅建設」と明確に区別するため、「一般建設」に変更した。

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業の加工組立型で低下～

製造業では、加工組立型のうち輸送用機械が東日本大震災後の在庫積み増しに伴い上昇しているものの、一般機械、電気機械、電子部品・デバイスなどが円高や海外経済の減速などを背景に低下しているため、加工組立型全体としては 32 → 6 と大幅に低下している。非製造業は、住宅建設で上昇がみられるものの、総じてほぼ横ばいとなっている。

図表 3 売上（生産）高 BSI

	(前々回調査) 11年4～6月期	(前回調査) 11年7～9月期	(今回調査) 11年10～12月期	(先行き) 12年1～3月期
全体	-31	10	7	-11
製造業	-36	14	9	-16
非製造業	-22	5	4	-5
規模の小さい企業	-31	-1	-5	-20
規模の大きい企業	-30	23	18	-3

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業の加工組立型でマイナスに転化～

製造業では、加工組立型のうち、輸送用機械が販売（受注）数量の上昇に伴う売上（生産）高の上昇からプラスとなっている一方、一般機械、電気機械、電子部品・デバイスなどが販売（受注）数量の低下による売上（生産）高の低下からマイナスに転じていることから、加工組立型体としては 16 → -10 とマイナスに転じている。非製造業では卸売、運輸・倉庫などが低下している。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 11年4～6月期	(前回調査) 11年7～9月期	(今回調査) 11年10～12月期	(先行き) 12年1～3月期
全体	-36	3	-3	-18
製造業	-37	6	-2	-25
非製造業	-33	-2	-5	-6
規模の小さい企業	-35	-8	-13	-24
規模の大きい企業	-36	14	7	-12

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業の加工組立型を中心に低下～

製造業では、円高や海外経済の減速から加工組立型が 22 → -2 とマイナスに転じている。先行きも、素材型や加工組立型を中心に低下する見通しとなっている。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 11年4～6月期	(前回調査) 11年7～9月期	(今回調査) 11年10～12月期	(先行き) 12年1～3月期
全体	-5	12	0	-4
製造業	-8	14	-2	-8
非製造業	6	6	5	4
規模の小さい企業	-1	9	-1	-5
規模の大きい企業	-9	15	1	-4

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業で過剰感が幾分増す～

製造業の素材型や加工組立型で過剰感が幾分増しているが、非製造業では卸売や小売を主体に不足感が出ている。

図表6 生産（販売）設備 BSI

	(前々回調査) 11年4～6月期	(前回調査) 11年7～9月期	(今回調査) 11年10～12月期	(先行き) 12年1～3月期
全体	5	3	2	4
製造業	8	4	7	8
非製造業	1	0	-6	-2
規模の小さい企業	1	1	0	0
規模の大きい企業	9	5	4	9

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～非製造業で不足感が増す～

製造業は加工組立型や生活関連型で過剰感が増しているが、非製造業では一般建設や住宅建設をはじめとして総じて不足感が強まっている。

図表7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 11年4～6月期	(前回調査) 11年7～9月期	(今回調査) 11年10～12月期	(先行き) 12年1～3月期
全体	13	2	-2	1
製造業	22	8	10	10
非製造業	-2	-7	-18	-12
規模の小さい企業	9	3	-1	1
規模の大きい企業	17	1	-2	1

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～製造業で「苦」超に転じる～

非製造業に加え、今回、製造業も加工組立型や生活関連型で資金繰りが「苦しい」超に転じている。

図表8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 11年4～6月期	(前回調査) 11年7～9月期	(今回調査) 11年10～12月期	(先行き) 12年1～3月期
全体	-5	-2	-6	-10
製造業	-4	3	-5	-8
非製造業	-8	-9	-7	-12
規模の小さい企業	-13	-9	-11	-18
規模の大きい企業	3	6	0	-2

(以上)